

育苗ネットの効果確認試験



0422①



0422②



0422③



0422④



0422⑤

試験目的

水稻育苗の省力化

試験作物
及び品種

水稻育苗 マット・ポット 品種()

試験資材
及び数量(規格)

ら〜くらく育苗ネット・N-15(2.7m×34m) 透明

慣行資材

農ポリ

栽培方法

播種日

4月17日

田植日

5月17日

収穫日

9月15日

資材使用期間

慣行区:4月17日~4月23日
試験区:4月17日~4月23日

試験区面積

64坪

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品と比べ、設置作業性は変わらなかった。ネットということもあり、めくれを懸念したが、それもなかった。

慣行の育苗方法は水をかけないが、試験品は水をかけないと乾燥してしまうという印象があった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行品と比べ、ネットのため保温性が劣り、1日芽出しが遅れた。収穫への影響はない。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 焼けづらいという効果が実感出来たらメリットになると感じる。(今年はやけの発生はなし)

【問題点】: 農ポリからの切替だと水をかける作業が発生する。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

特に気にならなかった。目ずれの発生もなかった。

(5)保温効果について

農ポリに比べ劣る。

モニター感想

今年は焼けづらいという効果が判然としなかった。効果を確認できれば有用だと思うが、通常(農ポリべた掛け、灌水なし)と管理方法が異なることから慣れるのに時間がかかるが、次年度も使用したい。

JA担当者の感想(購買部購買課 金屋主査)

今年は効果が判然としなかったということで次年度も使用してもらい、結果については継続して確認していきたい。

生産者によって育苗管理方法(農ポリべた掛け、シルバーポリトウべた掛け、トンネル併用等)が異なるため、生産者に適した提案を行ってまいりたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

次年度も継続して使用する。